

琉政だより

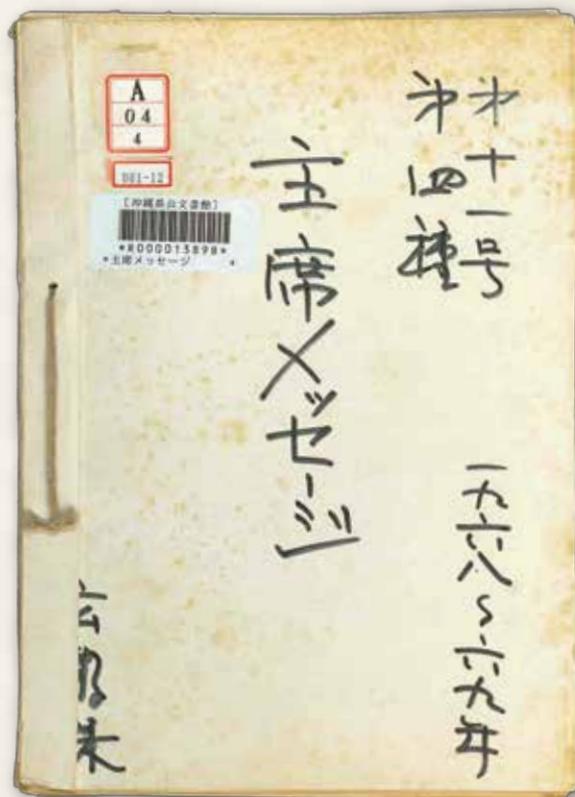
NO.09

2019年2月

主席メッセージ 1968-1969



屋良朝苗行政主席の就任あいさつ 1968年12月2日
写真番号027340



資料コード R00001389B

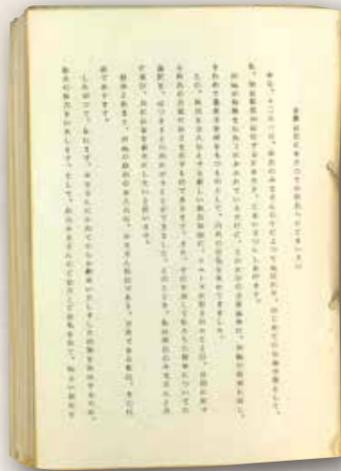
琉球政府文書デジタルアーカイブから、琉球政府初の公選主席である屋良朝苗のあいさつ、声明の原稿を綴った資料『主席メッセージ』を紹介します。



1952年4月1日に琉球政府が発足して以降、行政主席の最終的な任命権はUSCAR(琉球列島米国民政府)が掌握していました。住民は行政主席を直接投票で選出することはできず、主席公選は、戦後沖縄における自治権拡大の最大の争点でした。1968年11月10日、念願の主席公選が実施されました。その結果、沖縄自由民主党総裁の西銘順治に3万票以上もの差をつけ、革新統一候補の屋良朝苗が当選しました。

総務局 渉外広報部広報課の『**主席メッセージ 1968年～1969年**』(R0001389B)は、琉球政府初の公選主席である屋良朝苗のあいさつ・声明の原稿を綴った簿冊です。屋良主席の発したメッセージの一つ一つに、当時の状況や世相が映し出されています。

屋良主席の就任(1968.12.1)



1968年12月1日の「主席就任にあたっての県民へのごあいさつ」では、公選主席としての基本姿勢である、県民福祉の最優先、清潔で正直な政治の確立、一日も早い祖国復帰の実現について述べています。革新統一候補であった屋良主席ですが、B52墜落、原潜寄港などに対しては、「県民の生命を守る」という立場から、「党派をこえて結集して解決に当る」必要があるとしています。

▲162頁



松岡前主席(左)から事務引継を受ける屋良主席(中央) 1968年12月1日 写真番号 027549

B52撤去、原潜寄港阻止県民総決起大会(1968.12.14)



1968年12月14日に嘉手納村で開かれた「B52撤去、原潜寄港阻止県民総決起大会」へ向けた「ごあいさつ」です。沖縄戦で多くの県民が犠牲となったにもかかわらず、20年余りに及ぶ「ぼう大な軍事基地の中で生活を続けなければならないいきびしい状況」に触れ、さらにはB52爆撃機の墜落爆発事故、原子力潜水艦の寄港による放射能汚染などにより、「戦争の危機感さえ抱かせるに至っています」と述べています。続いて「かくも多数の県民の皆さんが真に戦争を憎み、これにつながる基地に反対し、何にも増して尊い県民のいのちを守るため組織をあげて立ち上がる姿勢を内外に示したことは、重大な意味を持つものであります」と大会開催の意義を述べ、「正しい要求は必ず実現するものであります」と結んでいます。

▲144頁

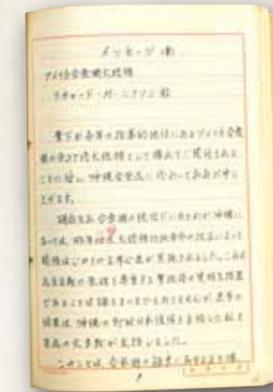
琉球政府創立記念日(1969.4.1)



▲70頁

1969年4月1日の琉球政府創立17周年記念日に県民に向けたメッセージです。「緩衝地帯」や「代行機関」と呼ばれてきた琉球政府の「苦難の道」を振り返り、主席公選の実現を「自治の確立」に向けた県民の絶え間ない努力の結果であると述べています。復帰が現実味を帯びるなか、県民が心一つにして「沖縄の運命の開拓にあたる」よう呼びかけています。

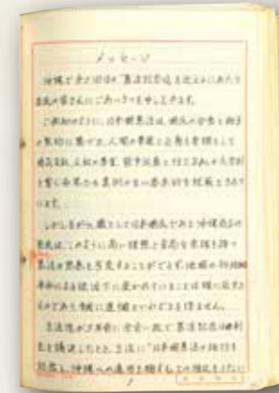
ニクソン米大統領の就任(1969.1.20)



▲114頁

1969年1月20日に就任したニクソン米大統領に宛てたメッセージです。「即時日本復帰」を掲げた屋良自身が主席に当選したことは、「24年間も異民族の支配下にある沖縄県民が同じ民族である日本本土同胞と一刻も早く結合したいという強い心情」の表れであるとし、「これを実現することこそ合衆国と日本の友好関係にとってむしろ利益になるものと考えます」と述べています。

憲法記念日(1969.5.3)



▲58頁

1948年に憲法記念日が制定された日本本土から遅れること17年、沖縄では1965年に憲法記念日が制定されました。沖縄では第5回目となる1969年5月3日の憲法記念日の県民に向けたメッセージでは、国民主権や戦争放棄といった日本国憲法の原則とともに、「一日も早く憲法のもとに立ち返り、日本国民としての諸権利を回復したい」と「祖国復帰」を「熱願」しています。

ランパート高等弁務官の就任(1969.1.28)



▲96頁

1969年1月28日のランパート高等弁務官の就任に際し、報道機関に向けた主席談話です。B52の長期駐留、原潜寄港など、沖縄が重大な問題に直面していること、県民が日本への即時復帰の意思を明確に表明したことに触れ、「ランパート中将が最後の高等弁務官となり、沖縄が本来の地位を回復することを願ってやみません」とあります。1972年の沖縄の日本復帰によって、ランパートは、実際に「最後の高等弁務官」となりました。



ランパート高等弁務官を表敬訪問する屋良主席 1969年1月28日 写真番号 31-14-1

2/1 F.アンガー高等弁務官、主席公選の実施を公表

11/10 主席公選、屋良朝苗当選

11/19 嘉手納飛行場内でB52 墜落事故発生

12/1 屋良朝苗、行政主席に就任

12/14 B52 撤去、原潜寄港阻止県民総決起大会開催

1/20 R. ニクソン、米大統領に就任

1/28 J. ランパート、高等弁務官に就任

2/2 生命を守る県民共闘、ゼネスト回避を発表

1968年

1969年

『主席メッセージ 1968年～1969年』には、以下のようなメッセージがあります。
ぜひ琉球政府文書デジタルアーカイブからご覧ください。



主なメッセージ

1968	主席就任にあたっての県民／政府職員へのごあいさつ
	行政主席の東京訪問の際のステートメント
	「B52 撤去、原潜寄港阻止県民共闘会議」の結成大会、総決起大会に対するあいさつ
	アポロ 8 号の月周回旅行の成功に対する米国大統領宛の祝電
1969	1969 年の新年のあいさつ
	「沖縄返還実現婦人・青年集会」に対する祝辞
	リチャード・ニクソンの米国大統領就任に対するメッセージ
	世界連邦建設同盟沖縄支部大会に対するあいさつ
	総合労働布令の施行延期に関する日本政府首脳への感謝電報
	親善交歓団に託したハワイ州知事宛のメッセージ
	ランパート中将の高等弁務官就任に対する談話
	新聞労連臨時大会に対するメッセージ
	B52 撤去を要請する米国大統領・米国政府関係者への電報文
	第 2 回沖縄即時無条件全面返還要求国民大会に対するあいさつ
	ランパート高等弁務官夫妻の歓迎会におけるあいさつ
	日本航空沖縄線開設 15 周年記念における東京都知事 美濃部亮吉宛のメッセージ
	琉球政府創立記念日におけるメッセージ
	「久留米市ひめゆり友の会」招待の中学生に託した福岡県知事 亀井光宛のメッセージ
	OHK 放送センター落成式での祝辞
	昭和天皇誕生日の祝賀パーティーに対するお祝いのことば
	憲法記念日に対するメッセージ
	冠船流川田琉球舞踊団の沖縄公演に際しての祝辞
	スポーツ少年使節団に託した熊本県知事 寺本広作宛のメッセージ
	カーペンター民政官の送別会におけるあいさつ
	北海道児童使節の沖縄訪問に関する北海道知事 町村金五宛の返礼メッセージ
	全国青年大会に向けたメッセージ
	「憲法記念府民のつどい」における京都府民へのあいさつ
1970	1970 年の仕事始めにあたってのあいさつ

◆web資料紹介ページ

資料画像に直接アクセスできます。
ぜひご利用ください。



◆アンケート

利便性向上のために
ぜひご協力ください。

